

広報

# 青葉

第24号 平成24年10月31日発行

医療法人 青葉会

松江青葉病院

〒690-0015 松江市上乃木 5-1-8

TEL: 0852 (21) 3565 FAX: 0852 (21) 0111

Email : aoba@themis.ocn.ne.jp

URL : <http://www.matsueaoba.or.jp/>



## 〔私たちの理念〕

生きがいを見出すために

## 〔基本方針〕

患者様の人権を尊重し、より良い医療を提供する。

地域に貢献できる質の高い病院を目指す。

医療知識・技術を日々研鑽する。

## ～巻頭～

10月に入り秋の気配が濃厚になってきました。今年の夏も大変に暑い夏でしたが、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍が一服の清涼感をくれたことを思い出します。

さて、厚生労働省「5 疾病・5 事業および在宅医療」に精神障害が含まれることとなりました。今までどちらかというと日陰にあった精神障害・精神医療ですが、やっと光が当たるようになります。今後、色々な施策が行われていくと思いますが、我々精神科医療に関わる者は精神障害者の利益になるように、是々非々の立場で協力していかないとはいけないと思っています。

最後に、当院に目を移しますと、平成24年10月1日から敷地内全面禁煙としました。約半年間の準備の後、全面禁煙化としたのですが、今のところ特にトラブルもなく順調に経過しています。定着まで今後も絶え間ない努力が必要ですが、職員一同、患者さんとともにこれからも頑張っていきます。

松江青葉病院 院長 妹尾晴夫

# 禁煙の取り組みについて

2 南病棟 看護師 尾崎 賢志

今年の7月より病棟スタッフをはじめとした禁煙サポーターによる禁煙に向けた取り組みが開始となり、10月1日から当院でも全面禁煙となりました。7月の時点では、10月からタバコが吸えなくなることは分かっているけど、このまま吸いたいと希望される患者様が大半でした。8月、9月と集団・個別のタバコの禁断症状等についての勉強会を開きましたが、生活の一部であるタバコから離れたくない、タバコが吸えなくなる辛さはあるがしかたがない、その時になれば禁煙するしかないという思いがとても印象的でした。喫煙者の楽しみを奪ってしまうことになる為、病棟では10月から、時間があれば患者様とトランプなどしたり、毎週DVD鑑賞するなどの余暇活動を行っています。DVD鑑賞では、「吉永小百合がきれいで良かった」「少しはタバコが忘れられた」など、寅さんシリーズがとても好評でした。また、どうしても禁煙できず、外出して喫煙されていた患者様もいましたが、看護師との交換日記により、苦しい思いを日記に書きなぐり、その辛い気持ちを看護師が受け止めながら禁煙に成功した患者様もいらっしゃいます。



全面禁煙となってまだ日が浅く、タバコを忘れられない患者様の為にタバコからの卒業を目標に、今後も病棟スタッフで協力してサポートしていきたいと思えます。

## 院内行事 . . . 運動会 . . .

レクリエーション委員会 委員長 西田 健一

9月12日(水)青葉病院運動会が開催されました。今年度も午前は車椅子、午後は独歩の方を中心に行われました。今年は、患者様の運動量も年々低下しておられる事を考慮し、動きが少なく楽しく楽しめる種目を取り入れてみました。

どの競技も楽しんで参加していただき、患者様に満足していただきました。今年も運動会ムードいっぱいの会場で、にぎやかに運動会を終えることが出来ました。



# 第7回 院内研究発表会を終えて

教育委員 看護師 原 匡史

今回で、7回目となる院内研究発表会を終えることができました。看護部だけではなく各部署から計10席の発表があり、様々な観点から研究をまとめることができました。各部署の発表を聴講することで、それぞれの取り組みや研究の成果などを知ることができ、有意義な研究発表であったと感じました。

また、看護部は今年も精神科認定看護師の東美奈子先生に研究計画書作成の段階から論文作成に



至るまでご指導頂き、研究の作成・発表を終えることができました。違う視点から指導していただくことで、新たな気付きもあり、研究の成果をより具体的に論文におこすことが出来たと思われます。

今回の研究発表会から得られた気付きや学びを日々の業務にフィードバックしていくと共に、次のステップアップに繋げていければと思います。

## 松江青葉病院 高次脳機能障害外来・デイケアについて

精神保健福祉士 仲西 秀之

当院では、平成24年10月より、高次脳機能障害外来・デイケアを始めることにしました。高次脳機能障害がある方の受け入れを標榜するデイケアは、現在のところ県内に3ヶ所しかなく、松江圏域では当院が初めての試みとなります。当面はハード面のこともあり、精神科デイケアと同じ場所での活動となりますが、別グループにて個人のペースに合わせた活動を通じ安定した地域生活が送れるようサポートします。ただ、場所が階段使用の2階であるため、ご自分で上がることのできる方限定となる点をご了承下さい。

<デイケアのご案内>

【開所日】 毎週月曜日～金曜日

【スタッフ】 精神科医・看護師・作業療法士・精神保健福祉士 等

【利用方法】 デイケア希望される場合は、火曜日、水曜日、金曜日の午前に診察予約を取って来院して下さい（予約の際は地域医療連携室の仲西 PSW にご連絡下さい）。その後、ご本人・ご家族との話し合いにより決定します。疑問がある場合、まずは相談にお越しく下さい。地域医療連携室の仲西 PSW が対応します。

<診療について>

診療は院長の妹尾晴夫（精神科専門医・神経内科専門医・日本老年精神医学会専門医・日本認知症学会専門医）が担当します。

# ～こころの健康～

精神科認定看護師 森山 香澄

最近、“認知症”になることへの不安に関するご相談をいただきました。  
年齢を重ねていくごとに気がかりとなる人が多いと聞きます。

～今回は、その“認知症”に関するお話です～



2012年、認知症を持つ高齢者人口は305万人（65歳以上人口の10%相当）という記事が新聞に出ました。

認知症は、その多くが徐々に進行していく病です。しかし、「認知症かな？」と思ってからなるべく早く治療を受け始めることで、その後の進行を遅らせることもできます。

## ～認知症チェックリスト～

- 同じことを何度も言う（聞く）
- 物の置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 複雑な話の内容が理解できなくなった
- 以前はあった興味や関心が薄れた
- 身だしなみがだらしくなった
- 以前よりも疑い深くなった
- 時間や場所の感覚が不確かになった
- 財布やお金、物などを盗まれたと思う
- 物の名前が出てこない
- 計算の間違いが多くなった
- 処方された薬の管理ができない
- 日課だったことをしなくなった
- 蛇口やガス栓の閉め忘れが目立つ
- ささいなことで怒るようになった
- 慣れている場所で道に迷った
- 夜中に急に起き、落ち着かない



これらに当てはまるからといって、必ずしも認知症とは言えませんが、可能性もありますので、精神科や神経内科などの専門機関への受診をお勧めします。

私たちは、認知症という病への理解を深め、受診や入院される方・ご家族のお力になれるよう、日々努めております。



また、ご要望に応じて 地域の皆様および医療・介護施設の職員向けに“認知症”や“こころの病”に関する講習会などにも出向かせていただいております。詳しくはお尋ねください。

## 編集後記

全面禁煙開始、高次脳機能障害デイケア開始と新たな取り組みが始まりました。何事も、新しいことへの挑戦では戸惑うことも多いものです。小さなことを一つ一つ乗り越えて、目標に向かって進んで行きたいと思っております。

写真は本人の了承を得て掲載しています

発行：松江青葉病院 広報委員会  
第24号編集担当：作業療法科